

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策が不十分である。利用者も参加した防災訓練や備蓄などについて、不十分な点が多々あり、早急に法人全体で取り組む必要がある	災害対策担当者の選任を行い体勢作りを図り、災害時の地域高齢者受け入れをも視野に入れた対策を具体化して行く	災害担当者の選任、災害時の非難に付いての具体化や備蓄品の整備、利用者や地域住民をも含めた防災避難訓練の実施(2回/年)	12ヶ月
2	26	介護計画について、モニタリングが不十分であり、疎遠になりがちな家族の意向も反映出来ていない状況である。又記録について、ケアチェックやアセスメント介護計画モニタリングといった一連の流れが系統立てて記録されておらず改善する必要がある	介護計画を有効に活用し、定期的なモニタリングを行い確実に利用者1人々の思いが反映出来る様にする。又家族への連絡や職員への周知について系統立てて記録していく	介護計画書の整備、定期的なモニタリングの実施、それに伴う記録の整備	12ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践が不十分である	全職員が身体拘束をしないケアの実践に付いての理解を深め、身体拘束禁止の具体的な行為の理解とそれを行わない為の対応を話し合う機会を持つ	玄関の開錠に向けての話し合いを行う。身体拘束を行わない方法を話し合う機会を多く持ちケアの基本に立ち返り日々のケアを見直す。地域運営推進会議の議題として話し合う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。